

## 第4章 市の地理的、社会的特徴

### (1) 地形

本市は、島根県の東部に位置し、松江市、出雲市に隣接し、南部は広島県に接している。

市の南部は毛無山（1,062m）を頂点に中国山地に至り、北部は出雲平野に続いていることから、標高差が大きくなっている。市内には、斐伊川本流と支流の赤川・三刀屋側・久野川、その支流である阿用川、吉田川などが流れているほか、神戸川に注ぐ稗原川、波多川が流れている。

加茂町から大東町、木次町、三刀屋町にかけて、斐伊川と赤川、三刀屋川の合流地点を中心とした平坦部が広がっているが、南部は中国山地に至る広範な山間部である。

総面積は、553.4k m<sup>2</sup>で島根県の総面積の8.3%を占め、その大半を林野が占めている。

《雲南市の地質》

○大東町、木次町、加茂町、三刀屋町：

花崗岩地帯で風化浸食による山地崩壊を起こしやすい地帯。（真砂土地帯）

○吉田町、掛合町：

花崗岩を主体としているが、三瓶火山灰、乳石等が残留し母岩風化物と火山物質の混合物が土壌母材となっている。（褐色低地土壌、黒ボク土壌が多い。）

### (2) 気候

北部の大東町や加茂町の年平均気温は14℃前後、南部の吉田町や掛合町では12～13℃で、年間降水量は1,700～1,900mm程度である。冬季には北部の加茂町でも降雪があり、南部の掛合町や吉田町、大東町や木次町の山間部等では降霜や積雪により農作物や交通等への影響もあるが、近年は暖冬傾向により根雪になることはあまりない。

### (3) 人口分布

市域における市街地は、国道54号と主要地方道松江木次線に沿って、大東町、加茂町、木次町、三刀屋町の一部が街地を形成しているほかは、小さな集落が点在している状況であり、市街地を除き人口密度はきわめて低い。

### (4) 道路、鉄道の位置等

本市の重要交通施設は、三刀屋町を基点として山陰自動車道へ通じる中国横断自動車道尾道松江線、一般道路では市域を南北に縦断する国道54号及び国道314号と、これを基点として主要地方道松江木次線、主要地方道出雲三刀屋線があり、鉄道ではJR木次線が市域の東側を南北に縦断しており、災害時における緊急輸送用の重要な交通路となる。